生きがい

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園

新居浜市上原二ー八ー一

（☎四四ー四八二六）

コロナ禍での学園活動について

高齢者生きがい創造学園
代表者会　会長　**尾藤　哲郎**

令和2年度より、代表者会会長になりました尾藤哲郎です。

今年になってから、コロナウィルスの影響により学園行事が全て自粛しておりました。

わたしは、3月から外出も控えて毎日TV漬けの生活でした。そのせいでお腹がぽっくり出てきました。少し反省し、5月からはウォーキングを始めて健康維持に務めています。

やっと国から出ていた緊急事態宣言も解除され、6月からは少しずつ学園活動も再開されてきました。しかしながら、東京を始めとする関東圏・北海道・関西・九州では、まだまだ患者さんの終息が期待できない状況です。

従いまして、今年度の学園行事に関しても、中止せざるを得ない行事が大半の予定です。3密を避けての大会・行事は、小人数にて可能か？　学園・役員会を通じて検討しています。

今後の第2波、3波に備えて、安心安全を一番に考えて皆さんと一緒にこの時期を乗り越えて行きましょう。

日	曜	午前	午後
3	月	墨友（書道） いとのこ（組み木） 桃山Ｄ（卓球）	百描会（美術） ウッド（組み木） 桃山Ｂ（卓球）
4	火	絵手紙教室 別子ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｅ（卓球） 亀池Ｂ（陶芸）	幸齢社会を賢く生きる 桃山Ａ（卓球） 亀池Ｂ（陶芸）
5	水	川柳教室 書心（書道） 広瀬ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｃ（卓球） 亀池Ａ（陶芸）	桃山Ｂ（卓球） 亀池Ａ（陶芸）
6	木	四季の組み木教室 写真教室 別子ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｄ（卓球） 亀池Ｂ（陶芸）	書龍（書道） 絵手紙あけぼの 桃山Ｅ（卓球） 亀池Ｂ（陶芸）
7	金	ねこやなぎ（川柳） 広瀬ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｃ（卓球）	桃山Ａ（卓球）
11	火	短歌みらい 絵手紙なでしこ 別子ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｅ（卓球）	絵手紙はなみずき 桃山Ａ（卓球）
12	水	書道教室 広瀬ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｃ（卓球）	桃山Ｂ（卓球）

令和２年度　役員

区分	役職	氏名	サークル
役員	会長	尾藤　哲郎	絵手紙令和（絵手紙）
役員	副会長	藤田　哲夫	コンテニュー（ハーモニカ）
役員	副会長	伊藤　勝美	クロワッサン（料理）
役員	副会長	近藤　茂子	さくら（茶道）
役員	顧問	田坂　重只	桃山Ａ（卓球）
役員	顧問	野口　憲一	桃山Ａ（卓球）
役員	会計	日野　富夫	モーツァルト（ピアノ）
役員	会計監査	田坂　重只	桃山Ａ（卓球）
役員	会計監査	高橋　正明	ねこやなぎ（川柳）
役員（委員会）総務	委員長	近藤　茂子	さくら（茶道）
役員（委員会）総務	副委員長	岡　憲朗	みどり（茶道）
役員（委員会）総務	副委員長	石川美砂子	なごみ（茶道）
役員（委員会）広報	委員長	亀井喜一郎	つれづれ（俳句）
役員（委員会）広報	副委員長	瀬崎貞三	短歌みらい（短歌）
役員（委員会）広報	副委員長	細川　衛	ねこやなぎ（川柳）
役員（委員会）体育	委員長	津田　宣臣	広瀬ＧＧ（グラウンドゴルフ）
役員（委員会）体育	副委員長	政岡貞次郎	別子ＧＧ（グラウンドゴルフ）
役員（委員会）体育	副委員長	飯尾　邦彦	別子ＧＧ（グラウンドゴルフ）
役員（委員会）体育	副委員長	篠原　貢	フレッシュ２００９（歩く）
役員（委員会）体育	副委員長	伏見　英昭	桃山Ｄ（卓球）
役員（委員会）音楽	委員長	徳本　勝彦	山雄会（カラオケ）
役員（委員会）音楽	副委員長	藤田　哲夫	コンテニュー（ハーモニカ）
役員（委員会）音楽	副委員長	日野　富夫	モーツァルト（ピアノ）
役員（委員会）文化	委員長	飯塚　紀夫	ウッド（組み木）
役員（委員会）文化	副委員長	藤原　年治	書楽（書道）
役員（委員会）文化	副委員長	秋山　徳孝	絵手紙あけぼの（絵手紙）

「生きがい」の発行の再開について

広報委員会

標記のことについて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、高齢者生きがい創造学園が休園となり、「生きがい」も休刊としておりました。

新型コロナウイルスの感染縮小に伴い、この六月から学園も一部講座・サークルの活動が再開されました。「生きがい」の発行もサークル活動の再開に伴って、次のとおり発行します。

一　「生きがい」の原稿は三ヶ月前に依頼します。学園が休園していたことから七月号は原稿がありませんので、休刊とします。

二　八月号は発行できなかった三月号・五月号・六月号の投稿していただいた原稿がありますので、その原稿で発行します。ただ、原稿によっては季節等に齟齬等があります。御理解の程よろしくお願いします。

三　九月号は七月初旬にサークル・講座の代表者に原稿依頼し、従前通り発行しますので、代表者は学園生に　原稿の投稿を依頼していただくようお願いします。投稿を依頼された学園生はサークルの紹介、活動内容、感想、体験談、旅行記等自由ですので、投稿をお願いします。なお、原稿は八月十日までに学園の窓口に提出をお願いします。

四　十月号以後の発行も、これの繰り返しですのでよろしくお願いします。

日	曜	午前	午後
13	木	書峰（書道） サンシャイン（写真） 別子ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｄ（卓球）	のこのこ（組み木）
17	月	墨友（書道） ウッド（組み木） 桃山Ｄ（卓球） 亀池Ａ（陶芸）	いずみ（短歌） 百描会（美術） いとのこ（組み木） 桃山Ｂ（卓球） 亀池Ａ（陶芸）
18	火	家庭菜園教室 別子ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｅ（卓球） 亀池Ｂ（陶芸）	やながわ（川柳） 桃山Ａ（卓球） 亀池Ｂ（陶芸）
19	水	書心（書道） 広瀬ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｃ（卓球） 亀池Ａ（陶芸）	絵手紙令和 桃山Ｂ（卓球） 亀池Ａ（陶芸）
20	木	書龍（書道） 別子ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｄ（卓球）	桃山Ｅ（卓球）
21	金	広瀬ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｃ（卓球）	桃山Ａ（卓球）
24	月	書楽（書道） つれづれ（俳句） のこのこ（組み木） 桃山Ｄ（卓球） 亀池Ａ（陶芸）	ハッピーヨガ教室 桃山Ｂ（卓球） 亀池Ａ（陶芸）

郷土を歩いて１０年

（歩くサークル　フレッシュ２００９）

私達のサークルは、講座を終了後、サークル名『フレッシュ２００９』として、希望者３３名が集まって結成されました。

翌年の２０１０年１月から早速活動をスタートし、毎月一回第三木曜日に、新居浜市内や西条今治を訪ねました。歩くことが楽しくて、一回平均２万歩を歩きました。

当初は自家用車数台で乗り合わせて出かけていましたが、その後行動範囲も、東予から、中予南予、県外へと足を伸ばすようになり、楽しみが倍増になりました。

しかし、安全第一を考え、民間のバスを利用しての活動となったため、運賃・高速料金など、年金暮らしの私達には少し重荷に感じていましたが、その後、他のサークルの方から、市の福祉バスを利用する方法がある…とのアドバイスを頂きました。

四国を郷土と呼び、歩き続けること１０年。

昨年は十周年記念にと、レオマワールドへの初めての一泊旅行を行ない、より一層親交を深めることが出来ました。

今日まで誰一人事故やケガが無かったことが何よりのサークルの誇りで、これもひとえに会員一人一人の自覚と、相手への思いやり、チームワークによるものと確信しています。

これからも、学園の一サークルとして、フレッシュを旗印にして郷土を歩き続けて行きたいと思っております。

（角野　篠原　貢）

短歌始めませんか？

（短歌サークル　いずみ）

大らかな泉 寔（まこと） 先生のご指導の下、短歌いずみの歌会は、いつも笑いに溢れています。

先輩方の歌に込められた家族への思いや日々の暮らしを見つめる視点が素晴らしく、いつも脱帽です。私好みの歌を紹介します。

○名も知らぬ野鳥の声を聴きながら
　終日妻と蜜柑摘み取る
○スイスからと答えてくれし秋遍路
　むっくり起きてにっこり笑う
○「山は富士　海は瀬戸内　湯は別府」
　ここには要らない地震と原発
○墓参り石段昇るひい孫は
　トントン登り我が先を行く
○さりげなく一日を開き散り行かむ
　白き木槿の小さき日傘よ
○子規さんも恋したことがあるかしら
　折り鶴ふたつ御墓に置きぬ
○吹き渡る風に稲穂は波立ちて
　ほろりほろりと豊作になる
○見上ぐれば夏の星座の広がりて
　十五の孫と夢をば語る
○設定の時間どおりにベルが鳴り
　百円時計に目覚めたる朝
○絵手紙のヘタをほめられおだてられ
　素直にヘタを守っています

手作りの歌集を発行しました。興味を持たれた方は、短歌始めませんか？

（中萩　福嶋　桂子）

日	曜	午前	午後
25	火	絵手紙ひよこ 別子ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｅ（卓球） 亀池Ｂ（陶芸）	絵手紙すみれ 桃山Ａ（卓球） 亀池Ｂ（陶芸）
26	水	広瀬ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｃ（卓球）	絵手紙レッドパール 桃山Ｂ（卓球）
27	木	書峰（書道） フレッシュ2009（歩く） 別子ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｄ（卓球）	桃山Ｅ（卓球）
28	金	広瀬ＧＧ（ゴルフ） 桃山Ｃ（卓球）	桃山Ａ（卓球）
31	月	書楽（書道） 桃山Ｄ（卓球）	百描会（美術） 桃山Ｂ（卓球）

事務室からのお知らせ

《事務室スタッフの変更》

昨年度末に、管理人の誉田健策が退職いたしました。それに伴い今年度より、宗野博之が新しく管理人として活動することになりました。

今まで同様よろしくお願いいたします。

◇ご恵贈お礼◇

◎川柳にいはま　七月号

にいはま川柳会　様

ピアノが弾ける喜び

（ピアノサークル　モーツァルト）

ピアノ教室からはじまり七年が過ぎ、学校で言えば中学生です。そう考えると、月日の経つのが早いなぁと思います。

サークルのある日が近づくと慌てて練習をする私はいつも毎日少しづつ練習しておけばよかったと反省しているところです。

自分が弾くよりも皆さんの弾いているのを聞くのが楽しみです。

今は発表会に向けて練習を始めたところです。一曲を三、四ヶ月かけて仕上げていきます。難しい所があると選曲をまちがえたのではと後悔しながらも、だんだんと出来なかった所が弾けるようになるのはうれしいものです。昨年の発表会にはあこがれのショパンの曲を弾きました。

曲を弾いたら終わりではなく、一曲をずっと弾き続けて自分のものにしなくてはと思うこの頃です。

サークルのメンバーも皆ピアノが好きないい方ばかりです。出会えた事に感謝です。これからもずっとサークルが続きますようにと願っています。山内恵里先生、これからも御指導よろしくお願いします。

（惣開　服部　順子）

天空に響く快音

（グラウンドゴルフ教室）

「お腹が出っ張ってきたな！何とかしないと大変だ！」そんな思いから今年初めて、グラウンドゴルフ教室の講座に申し込みを行なった。

グラウンドゴルフのルール、マナーを中心とした指導を薦田明世先生から口酸っぱく言われ、ほぼ、月２回のペースで試合形式の練習を開始した。

クラブの芯にうまく当たらない、打ったボールの方向があっちこっち。でも運が味方するのか、たまにホールインワンも経験する。これが何とも言えない。グラウンドゴルフを継続する魅力に繋がる。

十月に学園主催のグラウンドゴルフ大会が開催された。生まれて初めての本番での試合であったが、最高のチームメンバーに恵まれてチームとして優勝、個人でも四位に入賞する事が出来た。信じられない結果であった。

グラウンドゴルフを通じて実感したことは、年齢・性別に関係なく楽しめること、あまり高度な技術がなくても楽しめること、メンバーとのコミュニケーションも楽しい。

クラブの芯にボールが綺麗に当った時の音は何とも言えない快感である。加えて、日頃のストレスも吹き飛んで行きそうである。

天高く響け！　（金子　小山　公明）

六十の手習い

（書道サークル　書心）

家でのんびりしたいと思い早期退職。それを機に、昨年、創造学園の書道教室を受講し、今年度から書道サークル「書心」に入れて頂きました。社会人になると、なかなか書道にふれる機会がなく、書くとしたらのし袋の表書きぐらいです。しかも筆ペンで…。（笑）

「字は体を表す」「書は人なり」ということわざがありますが、字には、その人の人柄が表われるそうです。確かにそうかもしれません。素敵な字を見ると、心がほっこりと温かくなり、あこがれます。私も、美しい文字が書けるようになりたいと思っています。

サークルは、静かな雰囲気の中で稽古していると思いきや、おばさんトーク炸裂。和気あいあいと楽しく稽古しています。そんな中でも、小野博先生は、他人と比べる事なく、一人一人丁寧にご指導くださり、また、褒め上手でやる気を起こさせてくれます。本当にありがたく感謝しております。サークルの皆さんとの他愛のない会話や、少し集中する時、ゆっくりと流れる時間が大好きです。これからも、老後の趣味として続けていきたいと思います。今年は、年賀状を筆で書こうかなと思っています。今後共、よろしくお願いします。

（角野　神野　末美）

川柳に魅せられて

（川柳サークル　やながわ）

私が初めて川柳に興味を持ったのは、平成五年頃の第一生命のサラリーマン川柳が始まりで、それ以来、時々毎日新聞の投稿欄を見ていました。

その後、川柳との関わり合いは、平成二十三年の「高齢者生きがい創造学園」の川柳教室から始まり、翌年から川柳サークル「やながわ」がスタートし、令和二年に十年目を迎えます。その間、井原みつ子先生のご指導を戴き、数名の入退会を経て、月一回の例会、或いは年二回の吟行を十二名で実施し、句作に励んでいます。

川柳を作る要点は、人物や世相を表面からだけでなく、裏面から、或いは上や下から見ることで、従来とは異なった見え方ができると思いますが、中々簡単にはいきません。

政治家やお金持ちのズルさや不正を、目くじらをたてて非難することも大事ではあるが、川柳に読み込んで、ニヤリとする方が、ずっとオシャレに思えます。

この先川柳サークルも、会員の高齢化は避けられず、いつまで続くかわかりませんが、『継続は力なり』を信じて頑張っていこうと思います。

（角野　小野　よしのぶ）

絵手紙と出合って

（絵手紙サークル　あけぼの）

人生八十年。私が六十歳となり、残りの人生を楽しく過ごすため何をしようかと考えた時、ふと亡き姉からの絵手紙を思い出しました。送られてくる季節毎の色鮮やかな花や風景の絵手紙を見ては、感動とうらやましさを感じたものでした。

そこで、六十の手習いとしてこの講座に申し込みを決めました。それから三年が経ち、初めは筆の使い方や色の出し方に苦労しました。和田静子先生は「下手でもいい」というけれど、なかなか自分の思い描くような絵や色合いが、今でも難しいです。しかし、サークルの先生を始め皆さんとの学校のような、ワイワイと賑やかにしている時間が、私のかけがえのない時間です。

また、みんなの絵手紙を見て、私もこうしてみよう、この色いいなあと作品から刺激を受けています。また絵手紙を始めていろいろな場所に行くことが多くなり、綺麗な花を見たり風景に触れたり感動したりと楽しく過ごしています。

楽しい時間はあっという間ですが、その時感じた事、見たことを絵手紙に表現できるようにこれからもライフワークとして、何歳になっても、続けていきたいと思います。絵手紙に出合わせてくれた姉に感謝しています。ありがとう。

（大生院　竹内　輝美）

絵手紙と私

（絵手紙　レッドパール）

絵手紙教室に誘われた頃を振り返ってみると「下手でいい。下手がいい」と。なんて嬉しいキャッチフレーズだろうと、簡単に考えて入会しました。

人に見せられる絵を描いた事もないし、言葉を添えて…となると不安になりました。いざ教室に行くと和田静子先生を始め生徒の皆さんの笑顔や、やさしい言葉を耳にしながらの時間は、とても早く過ぎていった事を思い出します。

そして、会を重ねる度に絵の上手下手はさておき、教室の雰囲気の良さにいつも感動！『人は人の中』と、聞く事がありますが、先生や皆さんのやさしい一言、楽しいやりとりに幸せを感じつつ、これからも、続けられたらと思っています。

自画自賛かもしれませんが、まあまあ描けたなと思う作品を、色あせた写真と入れ替え、部屋に飾ってみたり、お友達に近況報告をしたいとポストへ。ただ、同じ絵を複数枚描き残しておけば良かったと思う事もありました。しかし嬉しかったとの返事をいただくと、そんな気持はどこへやら。下手でいいの言葉に励まされて、頑張れる。年賀状も絵の輪郭だけ描き、コピーして、そこら中広げて一色づつ色付けしそれらしく。そして「まだ出来そう」をいつも心に：：

（惣開　藤田　貴美代）

認知症予防になるかしら

（俳句サークル　つれづれ）

俳句が大好きだった母が亡くなって二十三年が経ちます。その母のそばにはいつも『俳句帳』がありました。

生前「あんたも俳句始めるなら教えてあげるよ」とも。やっとその気になって学園の門をたたいたのが五年前です。教えてもらおうにも母はもう亡く、「私に俳句なんてできるかしら」とためらいつつの入園でした。

それでもやっと無事に卒園することができました。これも教室の仲間の皆さんに支えられたおかげです。その人たちと一緒にサークル「つれづれ」を立ち上げ参加しました。

いつの間にか後期高齢者の仲間入りをし、進歩のないままの俳句歴五年ですが、阪上史琅先生やサークルの皆さんに助けられ、毎月の句会を楽しみにしています。とは言え、若い頃からの習慣で「切羽詰まらないと何もできない」性格は治らず、今も、句会の前日になってどうしよう、どうしようの毎月です。

それでも、認知症予防になるかと思い努力しています。これからも身体と頭が続く限り頑張ってみようと思っています。

（金子　片上　信子）

和のひととき

（茶道サークル　なごみ）

茶道には若い頃から関心がありました。しかし、学生時代や主婦になってからも、スポーツに熱中し過ぎて膝を故障し、正座が出来なくなったのです。ますます茶道は縁遠くなりました。

歳を重ね、学園祭の日に茶道のお点前を眺めていた私に声を掛けて下さった方がいたのです。「楽しいですよ。正座が出来なくても大丈夫ですよ」と。

その言葉に後押しされて学園でお稽古を始めてもう何年になるでしょう。何年たってもお点前は覚えられず四苦八苦していますが、それでも楽しいんです。日常から離れ、凛とした空間で過ごすひとときに幸せを感じます。お床のお軸とお花、そして、お楽しみのお菓子、一服のお茶の美味しいこと。季節を取り入れたしつらえをし、美しい立ち振る舞いで心を込めておもてなしをする。私が若い頃にぼんやりとあこがれ描いていた世界がここにありました。

堅苦しそうに思われがちな茶道ですが、「おもてなしの心」「感謝の心」を教えて頂いている気がします。熱心に指導して下さる金村宗裕先生や気の置けない仲間に巡り合えたことに感謝しつつ、これからも出来る限り続けたいと思う茶道です。

（大生院　水野　加代子）

なごみの活動風景

男子厨房に立つ

（料理サークル　美味しんぼ）

私たち「美味しんぼ」は、平成二八年に発足し四年間活動してきました。

この間チャレンジしたレシピは二〇〇ぐらいになります。といっても特別な料理ではなく、ごく普通の料理です。ただ少し特色があるのは、まず「簡単な酒のあて」があること。お酒がちょっぴり好きな私にとっては、とてもありがたいものです。

次にサークル生の希望により、時々「昔なつかしい料理」があることです。今年私の記憶に残っているのは押し寿司です。

皆さんもお祭りの時などの思い出があると思います。正方形の木枠に酢飯を詰め、上にいろんなものを置いて木の蓋をして押し込みます。木枠を抜いた時は感激でした。木枠は最近ほとんどありません。買いにいくと、百均にプラスチック製のものがありましたが、やっぱり木製だと思います。

一月のレシピは「ほうとう」でした。これは、武田信玄が自ら宝刀を使って調理したからと言い伝えられています。麺は中力粉を練って伸ばし、屏風たたみにして切ります。皆さん嬉々として取り組みました。

調理には経験の有無は関係ないと思っています。これからは「男子厨房に立つ！」の時代でしょう。美味しんぼで、男の料理を楽しんでいます。

（金栄　三浦　孝信）

卓球と私

（卓球サークル　桃山Ｂ）

私は四阪島の出身です。子供の頃、父の趣味は釣りと卓球でした。父は、妹と私に小さなラケットを作ってくれて、家の食卓を使って遊びました。それが、卓球との出会いです。

中学生になると卓球部に入りました。部員が少なくて、毎回試合には出られましたが、残念なことに負けてばかりでした。それでも、とても楽しかったです。

島には高校がなかったので、寮に入り、新居浜の高校に通いました。そして、高校でも卓球部に入りました。上手な人がいっぱいいて、いつも補欠でしたが、やっぱり楽しい思い出の方が多かったです。

大学に進学し愛媛を離れました。その後、大阪、神奈川、千葉と引越しを続け、一年余り前に新居浜に帰って来ました。ご近所の方に勧めて頂き、なつかしい卓球とまた出会うことができました。

学園では、いろいろな人との出会いがあり卓球も回数を重ねる度に楽しくなってきました。それにおもいっきり汗をかけることが嬉しいです。

これからは、サークルを通して長く続けていきたいと思います。そして、「私の趣味は卓球です」と言えるように、がんばります。

（角野　佐々木　縁）

レッツゴー　グラウンドゴルフ

（ゴルフサークル　広瀬ＧＧ会）

ピーという笛の合図でカラフルなボールが一斉に走り出す。グランドの状態をよみ優しくやさしく打っていく。時には力まかせに大振りもしたり・・・。

グラウンドゴルフ歴８年になりますがその日のグランドのコンディションや自分の体調によって点数が全然違ってくる。「皆違ってみんないい」なんて言ってる場合ではない。

日々グラウンドゴルフが出来る幸福は、病気をしたり怪我を経験したりしてイヤという程解っている筈なのに、やっぱり点数を意識してしまう。

広瀬ＧＧ会も結成２０年だとか。平均年齢は７７才位になると思う。決して高齢でもなく、決して若くもなく、なかなか微妙な年齢だと思います。

これからの日々、頭も体も元気でいる事がこれまでお世話になった沢山の人達への恩返しになるのではと考えます。いろいろな事に感謝しながら、グラウンドゴルフを出来る限り続けていこうと心に決めている。

「老梅」ちがうちがう蝋梅の花のようにひっそりとそれでいて暖かい雰囲気を忘れないように。

アットホームな広瀬ＧＧ会で、楽しい時間をご一緒しませんか。

（中萩　内田　悦子）

花をかかえて

（生け花サークル　弥生）

花の蕾もほころぶ季節になりました。

私は、生け花サークルに入ってまだ一年生ですが、回を重ねる毎に奥深さを感じます。お花を生ける時、かぎられた空間の場所で、どの花にも一本一本個性があり、その花が一番落ち着く位置があるはずだと探すのですが、鴻上美智甫先生に助けを求め何とか形ができる次第です。先生の手にかかればどんな花木も凛となり又しなやかに、時に風や水の流れまでも感じられ、本当に魔法の手です。先生の気さくで温かいお人柄や弥生の皆様のアットホームな雰囲気は、初回なのに何とも居心地の良かった事を覚えております。

花材で残った小菊を庭にさし木してみました。すると、いつの間にか赤や黄・白・ピンクのかわいらしい花が咲きました。お気に入りの一輪挿しにさし又元気をもらいました。

高級ブランド品を身に付けるより、華道を生涯の宝となるよう楽しみながら学び、身に付けたいと思います。一回こっきりの人生。少しでも豊かな気分で過ごしたいものですね。

新型コロナウィルスで世界中が経験のない事態にあわてています。一日も早く収束し、学園での活動が再開できますよう願います。

（泉川　近藤　智子）

学園歌壇

サークル「短歌みらい」

石鎚の山頂に雪ひとひらの雲のかかりて夕空に映ゆ　三浦　忠光

亡夫（つま）が居てナナと言う名の犬が居た我が幸せの峠もありき　近藤八千世

新年に〈津軽三味線〉賑やかに幸呼ぶごとくホールに響く　齋藤　哲雄

サークル「短歌いずみ」

一月のなかばなれども連峰に雪は積もらず寂しき夜明け　加藤　高昌

ピアスしてオレンジ色に髪染めた孫の土産は芋けんぴ　近藤　美紀

レッツダンス！　サンバにサルサでエクササイズ踊れなくても動けば楽し　西原麻奈美

待ち侘びる金毘羅歌舞伎の呼び物は松本親子の襲名披露　深川　隆正

ネットにもコロナウィルス広がりて情報網を独占する　林　勇夫

脳梗塞良くなりましたと笑顔にて六・四キロ九五歳が行く　尾藤　文子

学園柳壇

サークル「やながわ」

寒さよりオシャレを選ぶのは若さ　小野よしのぶ

子らの声響く活気のある町だ　加藤千代子

大嘗宮目に焼き付けた雨の中　河端　輝満

ありがとう活気をくれる孫が来る　藤田貴美代

老いたとて夢と希望はすてられぬ　村上　省二

心にもリボンをかけてありがとう　山本　博堂

サークル「ねこやなぎ」

露天風呂頭の雪は気にならぬ　服部　幸二

古里は昔引き出す玉手箱　細川　衛

回転寿司皿数競う子ら元気　石田　恵子

たかが皿されど皿には意味がある　伊藤　純子

微笑んで誤魔化している物忘れ　伊藤たみ子

さよならは言えなかったがありがとう　伊藤　敏数

どうしても素通りできぬチョコ売り場

本棚でごめんなさいね内裏様　講師　井原みつ子

学園俳壇

サークル「つれづれ」

梅雨湿り調節できぬ古ミシン　高橋　智子

捨てどきがわからぬままに衣更え　服部　順子

髪結いの笑みまきちらす七五三　明星　妥子

サークル「あすなろ」

今年もよ廃屋の柿たわわなる　太田　稔

行秋やアサギマダラは風待ちて　真田　靖枝

凍空に双頭のヘリ音高く　那須口静子

梅の花気丈な母の渓暮し　福永やすし

別府の湯ハングル文字は霧の中　真田　孝夫

旅に見るメルヘンチック冬銀河　東原　昌美

無風がよし綿虫の浮遊には

鹿角のペーパーナイフ笹子鳴く

龍の玉古びし句碑の句は読めず　講師　阪上　史琅